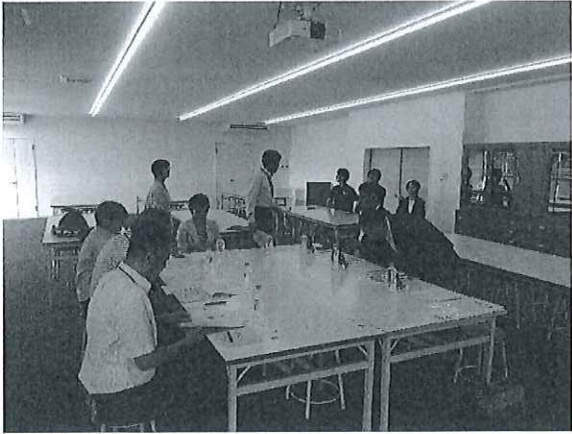


調査研究・研修活動実績報告書

2024年 10 月 10 日

会 派 名 又 は 議 員 名	フォーラム新桑名	会 派 代 表 者 印 又 は 議 員 印	
年 月 日	2024年10月7日(月)~2024年10月8日 (火)		
時 間	7日13時30分~・ 8日10時00~		
参 加 者 氏 名	フォーラム新桑名3人		
場 所 (調 査 先)	千葉県香取市府馬小学校跡地 会津若松市上下水道局		
調 査・研 修 先 説 明 者	千葉県香取市:総合政策部財政課 高岡良博他3名 企業側3名 福島県会津若松市:副局長角田 章 上下水道局事業体 遠藤利哉他3名		
目 的・内 容	香取市:旧府馬小学校跡地活用事業について 会津若松市:水道事業における公民連携の取り組みについて		
成 果・所 感			
<p>香取市:空き公共施設利活用推進事業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>府馬小学校廃校の経緯 平成22年7月に「香取市学校等適正配置計画実施プラン」策定⇒H27年5月第一次改定 改定では、山田地区の5小学校を一つにする(地域合意)となった。 想定よりも早く生徒数の減少があった。 旧府馬小学校は、閉校後も、その跡地を行政及び地域住民が様々な形で利用していることもあり、今回この公共施設を選んだようです。 令和5年5月に公募型プロポーザル方式で提案事業者によるプレゼンテーション審査の結果2社に決定したようです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金井工業株式会社 ・株式会社J forces one HOLDINGS <p>地域説明会も2回ほど実施しており、体育館など市民利用の要望があったようです。 締結内容について 契約期間:令和5年11月1日から令和15年10月31日まで</p> </div> </div>			

契約方法:建物部分無償貸付、土地有償貸付(月額303,182円)

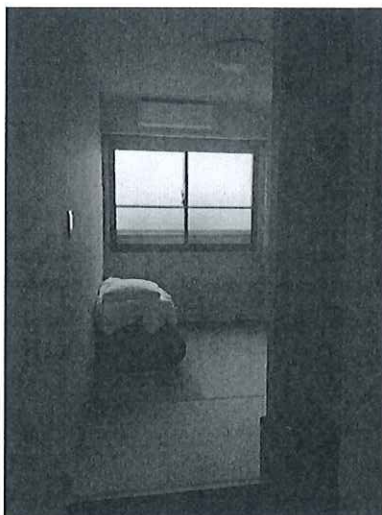
貸付面積:22,986.40㎡

府馬小学校跡地利活用について

株式会社J forces one HOLDINGS JMCA多能工職人育成学校が主に事業を実施していました。

(1)建築職人育成事業(校舎2階)

合宿をし、35日間の研修カリキュラムを通じ、建築の多能工職人として必要な技術を習得できる職人育成学校を校舎内に設置。(視察時はトイレ設置工でした)



旧校舎(理科室)には実際の住宅と、マンション系のトイレ部分を再現して実習をしていました。

(2)しょうがい者就労支援事業

現在準備中でした。

(3)飲食事業

現在準備中でした。

(4)多目的運動施設運営事業(校庭)

校庭に人工芝グラウンドを整備し、サッカー等のスポーツやリクリエーション施設として活用(2年後完成予定とのことでした)

(5)その他事業

ふとんクリーニング・コインランドリー(校舎1階)スポーツ事業(校舎3階)を計画中

ふとんクリーニング・コインランドリーは稼働中でした。

まとめ

今回小学校1校の事例を視察してまいりましたが、地域によってどのような利活用が適しているのか、地域社会との協調・貢献効果など公募する際には、民間企業のノウハウを十分取り入れる方向で行政も協力しながら事業を推進することが重要かと感じました。

もちろん地域住民の意見【特に屋内運動施設(体育館)を残すのは重要かと思いました。】

会津若松市:水道事業における公民連携の取り組みについて



委託方法の検討

平成19年度以降降水需要の低迷がつづき、特に大口である半導体メーカーの規模縮小などで工業用水量の減少、そのほかの要因として人口減少、技術者の減少などから、第三者委託制度を利用した包括的民間委託の導入に至った。

委託の経過

【第1期】第三業務委託(H22年4月~H26年3月)

- ・各浄水場の運転・維持管理・・・浄水場の運転管理に実績のある業者
- ・送配水施設の維持管理・・・市内の地理や水道施設に精通した地元業者

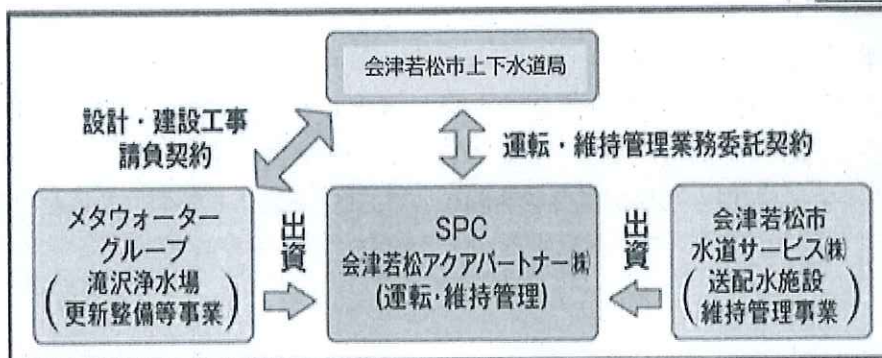
【第2期】DBO 設計・建設・第三者委託による維持管理(H26年4月~R15年3月)

- ・滝沢浄水場の設計・建設・各浄水場の運転維持管理・・・整備更新を担う企業グループ
- ・送配水施設の維持管理・・・市内の地理や水道施設に精通した地元業者

特に第2期をわかりやすく表にしたものを貼付します。

DBO契約スキーム (第2期)

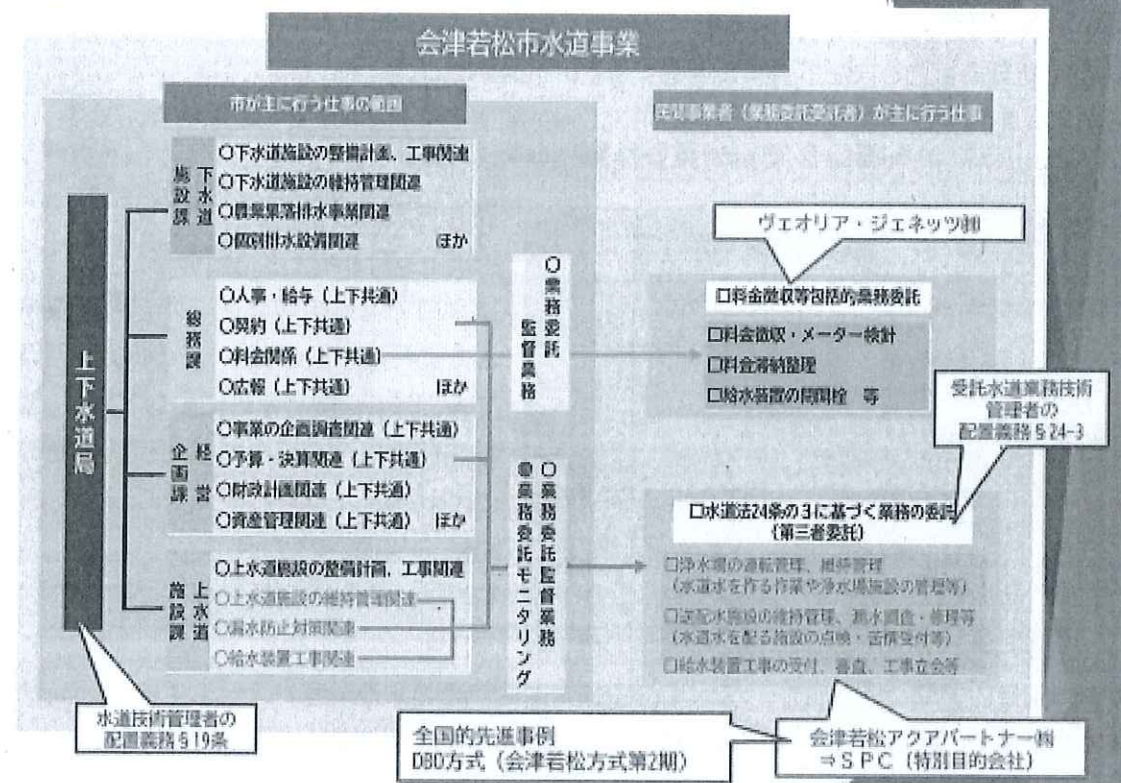
- ・滝沢浄水場の更新整備および各浄水場の維持管理業務をDBO方式(DBO: Design Build Operate)により実施
- 各浄水場の運転管理と送配水施設の維持管理業務については整備更新事業を担う企業グループと送配水事業を担う事業者が出資して設立したSPCに業務を委託するというスキームを採用



局内の業務分担と最新の取組

100%任せているのではなく、監督・モニタリングを実施し、最近では受託水道業務技術管理者の配置を義務化している。

局内の業務分担と最新の取組



災害への備え

市と会津若松市水道サービス(株)・会津若松アクアパートナー(株)・(株)ジェネッツ・会津管工事共同組合と災害協定の締結を結んで、大災害時でも短期間に復旧が可能。

水道DX取組の事例と効果

「会津若松水道DX」の取組

- AIを活用した管路劣化度診断
- IoTを活用した水道工事の継手施工管理
- 通信機能付きセンサーを用いた漏水調査

が行われており、効果の検証もされていました。

まとめ

今回、水道事業の公民連携の取組という事で、視察させていただきました。

民間企業に任せる部分と、水道局が担う部分がはっきりしており非常に分かりやすかった。

定期的に民間企業との、情報交換をする機会「工事担当者会議」も実施しており、技術情報交換や災害時の訓練など、普段から顔の見える活動をしており、桑名市も参考にするとところはあるかと感じました。

以上

(注)成果・所感は別途報告様式に替えることができる。